

平成28年11月28日
鳴子まちづくり協議会
大崎市
東北地方整備局鳴子ダム管理所
東北電力(株)古川営業所

鳴子温泉郷の地域活性化を目指して 鳴子ダム選奨土木遺産認定記念式典を開催します

鳴子ダムと附帯する鳴子発電所は、本年9月16日に「平成28年度の選奨土木遺産」(認定者:土木学会)として認定が決定されました。

認定を記念して、鳴子まちづくり協議会主催により、記念式典を開催致しますのでお知らせします。

日時:平成28年12月4日(日)9:45~13:20
場所:大崎市鳴子スポーツセンター
主催:鳴子まちづくり協議会
実施内容:選奨土木遺産認定証と銘板の授与式
記念講演「ダムを利用したまちおこし」
講師:ダムマニア&ダムライター 宮島咲 氏
試食会(鳴子ダムカレーとなる子ちゃんこ鍋の試食)
現地見学会(鳴子ダムと鳴子発電所見学ツアー)

詳細は別添チラシ参照願います。

<受賞概要>

- 名称:鳴子^{なるこ}ダム(附帯する鳴子発電所を含む)
- 認定決定日:平成28年9月16日
- 完成年:昭和32年(昭和27年着工 昭和32年完成)
- 申請者:鳴子^{なるこ}地域づくりネットワーク(会長:高橋鉄夫)
- 受賞理由:複雑なカルデラ地形の地に外国の技術者を招かずに日本の技術者だけで建設した我が国初の本格的100m級アーチ式コンクリートダムである

【発表記者會】古川記者クラブ

<問い合わせ先>

- 式典全般に関すること
大崎市 鳴子総合支所 地域振興課
地域づくり担当主査 鈴木 一寿
TEL:0229-82-2191
- 鳴子ダムに関すること
国土交通省 東北地方整備局 鳴子ダム管理所
所長 菅原 裕彦
専門官 福士 高義
TEL:0229-82-2341

鳴子ダムを活用した観光の活性化とまちづくりを目指して！
鳴子ダム選奨土木遺産認定記念



鳴子ダム

鳴子ダムは、複雑なカルデラ地形の地に外国の技術者を招かずに日本の技術者だけで建設した我が国初の本格的100m級アーチ式コンクリートダムであることから受賞の運びとなりました。

選奨土木遺産認定記念式典

◆日時 平成28年12月4日(日) 9:45～13:20 (受付開始9:30～)

◆会場 大崎市鳴子スポーツセンター (電話:0229-82-2101)
(住所:大崎市鳴子温泉字鷺ノ巣85番地4 最寄駅:鳴子御殿湯駅)



見学会参加者には
記念のダムカードを
差し上げます！

オープニングアトラクション『大崎市指定文化財 鬼首神楽』

<第1部> 選奨土木遺産認定証と銘板の授与式

<第2部> 記念講演

演題 『ダムを利用したまちおこし』

講師 ダムマニア&ダムライター 宮島 咲氏

<講演終了後> 鳴子ダムカレーとなる子ちゃんご鍋の試食【限定200食】

現地見学会 【式典参加者のうち希望者のみ:定員100名】

鳴子ダムと鳴子発電所見学ツアー

普段は立ち入ることができない発電所とダムの堤体下から鳴子ダムを見上げるツアーを企画しました。[天候によっては変更となる場合があります]

主催: 鳴子まちづくり協議会

共催: 鳴子ダム管理所・大崎市・鳴子温泉郷観光協会

後援: 鹿島建設(株) 東北支店・東北電力(株) 古川営業所・鳴子地区地域づくりネットワーク
鬼首地域づくり委員会・鳴子地域づくり委員会・東鳴子地域づくり委員会

川渡地域づくり委員会・中山地区コミュニティ連絡協議会

問い合わせ先: 鳴子まちづくり協議会事務局(鳴子総合支所内)

TEL & FAX 0229-25-8380

e-mail: naruko-hot-spring-machikyou@lapis.plala.or.jp

裏面あり

鳴子ダム選奨土木遺産認定記念式典

地域自治組織である「鳴子まちづくり協議会」並びに「鳴子♨️地域づくりネットワーク」が主体になり、鳴子温泉の個性や魅力を発揮するために必要な地域課題のひとつとして、鳴子ダムの選奨土木遺産認定に向けて様々な活動をおこなってきました。

この度、大崎市誕生10周年の節目の年に選奨土木遺産に認定され、これを契機に観光の活性化やまちづくりの起爆剤として、鳴子ダムを有効に活用し、鳴子温泉の産業連携を促進させ、交流人口の増加につなげたい。

◆日時:平成28年12月4日(日) 午前10時～

◆場所:鳴子スポーツセンター(式典会場) ※鳴子公民館隣り

◆定員:200名 ◆参加費無料

9:30 開場

9:45

オープニングセレモニー『大崎市指定文化財 鬼首神楽』

10:10 第1部 選奨土木遺産認定証と銘板の授与式

1. 開式
2. 主催者挨拶:鳴子まちづくり協議会 高橋 鉄 夫
3. 認定者挨拶:土木学会東北支部長 様
4. 認定証授与
5. 祝辞:大崎市長 伊藤 康志 様
6. 受賞の経緯:選奨土木遺産選考委員会委員
東北大学 准教授 後藤 光 亀 様
7. 受賞者挨拶:鳴子♨️地域づくりネットワーク
8. 閉式

11:00 第2部 記念講演

演題 「ダムを利用したまちおこし」

講師 ダムマニア&ダムライター 宮島 咲 氏

12:30 鳴子ダムカレー・なる子ちゃんご鍋等の試食。【限定200食】

◆アトラクション『鳴子♨️地域づくりネットワーク 伝統おどり保存会』

◆地域づくり委員会等の活動パネル展示と紹介

◆鳴子ダムを題材とした映画「鉄血の魂」の上映会

13:30 現地見学会(希望者のみ)【天候により行程が変更となる場合があります】

◆ダム堤体下からダムを見上げよう!【バス利用限定100名】

◆鳴子発電所で水力発電を見学!

15:00 終了 ◆参加者全員へ記念のダムカードを配布



宮島 咲 (みやじま さき)

1972年、東京都生まれ。(一財)日本ダム協会認定元ダムマイスター、老舗割烹料理店「割烹三州家」5代目。ダム事業部長。脱サラした28歳頃からダムめぐりを始め、関東地方を中心に600基ほどのダムを訪問、生涯の目標は国内のダム約2700基の制覇。2002年ウェブサイト「ダムマニア」を開設後、ダム関係者に注目されることとなる。(一社)ダム工学会や(一財)日本ダム協会主催の講演や、フォトコンテスト審査委員などを務め、NHK「熱中夜話」やMONDO21「山田五郎のマニア解体新書」などテレビやラジオなどに多数出演してダムマニアとしての地位を確立する。著作に、「ダムマニア(オーム社)」や「ダムカード大全集(スモール出版)」「ダムを愛する者たちへ(スモール出版)」、日本ダム協会「月刊ダム日本」やオーム社「水と水技術」、井上よしひさ氏著の「ダムマンガ」にコラム連載など。本業では各型式のダムを模したダムカレーを提供。全国からカレー目当てにダムファンが訪れる他、群馬県みなかみ町や、愛知県豊根村の町おこしにダムカレーが導入されるなど、さまざまな角度からダムや水源地为プロモーションする事業を展開し、ダムへの理解促進とダムファンの拡大に尽力している。

鳴子ダム選奨土木遺産認定記念式典参加申込書 平成28年12月1日(木)必着

参加者氏名	性別	年齢	電話番号	現地見学会参加の有無
				参加 ・ 不参加
				参加 ・ 不参加
				参加 ・ 不参加

※現地見学会も参加の方:先着順100名になり次第締切り

申込先:鳴子まちづくり協議会(鳴子総合支所内) 下記のFAX又はメールをお願いします。

TEL & FAX 0229-25-8380

e-mail: naruko-hotspring-machikyou@lapis.plala.or.jp